



## 医療スタッフのページ

### 【おせちは神への供えもの】

#### 栄養管理室

正月はなぜめでたいのでしょうか。

それは年の神様が来て、年が新しく生まれかわるからです。年の神様は年神といい、農耕をつかさどる神でもありましたので、年神を迎えもてなすことにより一年の豊作を祈りました。古くから、収穫したものはまず神に供え、そのお下がりをしていただく習慣がありましたがそれを「なおり」といい、神の持つ力をいただくことを意味しました。また、おせちの数の子は子孫繁栄、黒豆は「マメに」働く、「黒く」なるまで働く、えびはえびのように腰が曲がるまで長生きを、れんこんは穴があいているところから「先が見通せる」、干し柿は粉をふくまで老いても丈夫なようにといったように、使われる材料や切り方など形のひとつひとつにも意味があるのです。

今年のお正月は、おせち料理を食べながらいわれや意味を考えてみてはいかがでしょうか。

### 【職場紹介】

#### リハビリテーション科

リハビリテーション医療で患者様の多様なニーズに対応するために種々の関連専門職種があります。

医師、看護師は重要なメンバーです。他に理学療法士 (PT)、作業療法士 (OT)、言語聴覚士 (ST)、義肢装具士、医療社会福祉士 (MSW)、臨床心理士、などが一般的には挙げられています。

次回は当院リハビリテーション科の医師、PT、OT、STについて、それぞれが担当する部門についての紹介をしようと思います (予定なので紹介順の変更あり)。



### 【おくすりと飲食物との相互作用】

#### ～その1～

#### 薬剤部

おくすり同士の「飲み合わせ」の他に、おくすりや飲食物などとの間にも「飲み合わせ」に注意が必要なものがあります。

安定剤や睡眠剤などはアルコールによってこれらの薬の作用が強まるおそれがあります。

具体的には、アルコール飲用後に安定剤や睡眠剤を服用すると、ろれつが回らなくなったり、一時的に記憶を失うなどの症状が現れることがあります。安定剤や睡眠剤には、脳の働きを抑制する作用があり、アルコールにも同じ作用があるために「飲み合わせ」(作用増強)が occurs。

薬剤部で配布している「おくすりの説明書」では、このような内容についてもお知らせしていますので参考にしてください。

### 【X線(レントゲン)撮影の安全性】

#### 放射線科

時々、患者様より「頻繁に X 線撮影を受けているけど体は大丈夫か」との質問を受けます。ご安心ください。通常の撮影で使用する X 線量を数回被爆した程度では、身体に何も影響は現れてまいりません。また撮影室においては、必要以上の X 線に患者様が被爆しない様、その線量や照射範囲については、十分注意して撮影を行っています。だからと言って無駄な撮影や、重複する撮影は避けるべきです。さらに放射線の感受性が比較的高い妊娠初期の胎児への被爆を避けるため、妊娠の可能性のある女性の方の胃透視や注腸撮影などの腹部撮影は、妊娠の可能性が否定できる時期に行うことが大切だと思います。

いずれにしても疑問な点は、いつでもお気軽にご相談下さい